百人一首 せんむすびワークシート（1）

上のくと下のくを線でむすびましょう

【A】田子の浦に うち出でて見れば
白妙の

【B】奥山に 紅葉踏みわけ 鳴く鹿の

【C】かささぎの 渡せる橋に おく霜の

【D】これやこの 行くも帰るも 別れては

【E】天の原 ふりさけ見れば 春日なる

【F】秋の田の かりほの庵の 苫をあらみ

【G】あしびきの 山鳥の尾の しだり尾の

【H】花の色は うつりにけりな
いたづらに

【I】春すぎて 夏来にけらし 白妙の

【J】わが庵は 都のたつみ しかぞすむ

【1】わが衣手は 露にぬれつつ

答え[　]

【2】衣ほすてふ 天の香具山

答え[　]

【3】ながながし夜を ひとりかも寝む

答え[　]

【4】富士の高嶺に 雪は降りつつ

答え[　]

【5】声きく時ぞ 秋は悲しき

答え[　]

【6】白きを見れば 夜ぞふけにける

答え[　]

【7】三笠の山に 出でし月かも

答え[　]

【8】世をうぢ山と 人はいふなり

答え[　]

【9】わが身世にふる ながめせしまに

答え[　]

【10】知るも知らぬも 逢坂の関

答え[　]

百人一首 せんむすびワークシート（2）

上のくと下のくを線でむすびましょう

【A】天つ風 雲の通ひ路 吹きとぢよ

【B】陸奥の しのぶもぢずり 誰ゆゑに

【C】立ち別れ いなばの山の 峰に生ふる

【D】難波潟 短き芦の ふしの間も

【E】住の江の 岸に寄る波 よるさへや

【F】ちはやぶる 神代もきかず 竜田川

【G】わたの原 八十島かけて
漕ぎ出でぬと

【H】君がため 春の野に出でて 若菜つむ

【I】筑波嶺の 峰より落つる みなの川

【J】わびぬれば 今はた同じ 難波なる

【1】人には告げよ あまの釣舟

答え[　]

【2】をとめの姿 しばしとどめむ

答え[　]

【3】恋ぞつもりて 淵となりぬる

答え[　]

【4】乱れそめにし われならなくに

答え[　]

【5】わが衣手に 雪は降りつつ

答え[　]

【6】まつとし聞かば 今帰り来む

答え[　]

【7】からくれなゐに 水くくるとは

答え[　]

【8】夢の通ひ路 人目よくらむ

答え[　]

【9】逢はでこの世を 過ぐしてよとや

答え[　]

【10】みをつくしても 逢はむとぞ思ふ

答え[　]

百人一首 せんむすびワークシート（3）

上のくと下のくを線でむすびましょう

【A】山里は 冬ぞさびしさ まさりける

【B】名にし負はば 逢坂山の さねかづら

【C】有明の つれなく見えし 別れより

【D】月見れば 千々にものこそ 悲しけれ

【E】今来むと いひしばかりに 長月の

【F】小倉山 峰の紅葉葉 心あらば

【G】心あてに 折らばや折らむ 初霜の

【H】みかの原 わきて流るる いづみ川

【I】このたびは 幣も取りあへず 手向山

【J】吹くからに 秋の草木の しをるれば

【1】有明の月を 待ち出でつるかな

答え[　]

【2】むべ山風を 嵐といふらむ

答え[　]

【3】わが身一つの 秋にはあらねど

答え[　]

【4】紅葉の錦 神のまにまに

答え[　]

【5】人に知られで くるよしもがな

答え[　]

【6】今ひとたびの みゆき待たなむ

答え[　]

【7】いつ見きとてか 恋しかるらむ

答え[　]

【8】人目も草も かれぬと思へば

答え[　]

【9】置きまどはせる 白菊の花

答え[　]

【10】暁ばかり 憂きものはなし

答え[　]

百人一首 せんむすびワークシート（4）

上のくと下のくを線でむすびましょう

【A】山川に 風のかけたる しがらみは

【B】忘らるる 身をば思はず 誓ひてし

【C】人はいさ 心も知らず ふるさとは

【D】しのぶれど 色に出でにけり
わが恋は

【E】誰をかも 知る人にせむ 高砂の

【F】朝ぼらけ 有明の月と 見るまでに

【G】ひさかたの 光のどけき 春の日に

【H】白露に 風の吹きしく 秋の野は

【I】浅茅生の 小野の篠原 しのぶれど

【J】夏の夜は まだ宵ながら 明けぬるを

【1】吉野の里に 降れる白雪

答え[　]

【2】流れもあへぬ 紅葉なりけり

答え[　]

【3】しづ心なく 花の散るらむ

答え[　]

【4】松も昔の 友ならなくに

答え[　]

【5】花ぞ昔の 香ににほひける

答え[　]

【6】雲のいづこに 月宿るらむ

答え[　]

【7】つらぬきとめぬ 玉ぞ散りける

答え[　]

【8】人の命の 惜しくもあるかな

答え[　]

【9】あまりてなどか 人の恋しき

答え[　]

【10】ものや思ふと 人の問ふまで

答え[　]

百人一首 せんむすびワークシート（5）

上のくと下のくを線でむすびましょう

【A】御垣守 衛士のたく火の 夜は燃え

【B】八重むぐら しげれる宿の
さびしきに

【C】あはれとも いふべき人は 思ほえで

【D】逢ふことの 絶えてしなくは
なかなかに

【E】君がため 惜しからざりし 命さへ

【F】恋すてふ わが名はまだき
立ちにけり

【G】由良の門を 渡る舟人 かぢを絶え

【H】逢ひ見ての のちの心に くらぶれば

【I】風をいたみ 岩うつ波の おのれのみ

【J】契りきな かたみに袖を しぼりつつ

【1】人知れずこそ 思ひそめしか

答え[　]

【2】末の松山 波越さじとは

答え[　]

【3】昔はものを 思はざりけり

答え[　]

【4】人をも身をも 恨みざらまし

答え[　]

【5】身のいたづらに なりぬべきかな

答え[　]

【6】ゆくへも知らぬ 恋の道かな

答え[　]

【7】人こそ見えね 秋は来にけり

答え[　]

【8】くだけてものを 思ふころかな

答え[　]

【9】昼は消えつつ ものをこそ思へ

答え[　]

【10】長くもがなと 思ひけるかな

答え[　]

百人一首 せんむすびワークシート（6）

上のくと下のくを線でむすびましょう

【A】有馬山 猪名の笹原 風吹けば

【B】やすらはで 寝なましものを
さ夜ふけて

【C】かくとだに えやはいぶきの
さしも草

【D】あらざらむ この世のほかの
思ひ出に

【E】明けぬれば 暮るるものとは
知りながら

【F】滝の音は 絶えて久しく なりぬれど

【G】めぐりあひて 見しやそれとも
分かぬ間に

【H】大江山 いく野の道の 遠ければ

【I】忘れじの 行末までは かたければ

【J】嘆きつつ ひとり寝る夜の 明くる間は

【1】さしも知らじな 燃ゆる思ひを

答え[　]

【2】なほ恨めしき 朝ぼらけかな

答え[　]

【3】いかに久しき ものとかは知る

答え[　]

【4】今日を限りの 命ともがな

答え[　]

【5】名こそ流れて なほ聞こえけれ

答え[　]

【6】今ひとたびの 逢ふこともがな

答え[　]

【7】雲隠れにし 夜半の月かな

答え[　]

【8】いでそよ人を 忘れやはする

答え[　]

【9】かたぶくまでの 月を見しかな

答え[　]

【10】まだふみもみず 天の橋立

答え[　]

百人一首 せんむすびワークシート（7）

上のくと下のくを線でむすびましょう

【A】夜をこめて 鳥のそらねは
はかるとも

【B】春の夜の 夢ばかりなる 手枕に

【C】今はただ 思ひ絶えなむ とばかりを

【D】嵐吹く 三室の山の もみぢ葉は

【E】いにしへの 奈良の都の 八重桜

【F】もろともに あはれと思へ 山桜

【G】朝ぼらけ 宇治の川霧 たえだえに

【H】さびしさに 宿を立ち出でて
ながむれば

【I】恨みわび ほさぬ袖だに あるものを

【J】心にも あらでうき世に ながらへば

【1】けふ九重に にほひぬるかな

答え[　]

【2】よに逢坂の 関はゆるさじ

答え[　]

【3】人づてならで 言ふよしもがな

答え[　]

【4】あらはれわたる 瀬々の網代木

答え[　]

【5】恋に朽ちなむ 名こそ惜しけれ

答え[　]

【6】花よりほかに 知る人もなし

答え[　]

【7】かひなく立たむ 名こそ惜しけれ

答え[　]

【8】恋しかるべき 夜半の月かな

答え[　]

【9】竜田の川の 錦なりけり

答え[　]

【10】いづくも同じ 秋の夕暮れ

答え[　]

百人一首 せんむすびワークシート（8）

上のくと下のくを線でむすびましょう

【A】夕されば 門田の稲葉 おとづれて

【B】高砂の 尾の上の桜 咲きにけり

【C】秋風に たなびく雲の 絶え間より

【D】瀬を早み 岩にせかるる 滝川の

【E】憂かりける 人を初瀬の 山おろしよ

【F】契りおきし させもが露を 命にて

【G】わたの原 漕ぎ出でて見れば 久方の

【H】音にきく たかしの浜の あだ波は

【I】長からむ 心も知らず 黒髪の

【J】淡路島 かよふ千鳥の 鳴く声に

【1】芦のまろやに 秋風ぞ吹く

答え[　]

【2】かけじや袖の ぬれもこそすれ

答え[　]

【3】外山の霞 立たずもあらなむ

答え[　]

【4】はげしかれとは 祈らぬものを

答え[　]

【5】あはれ今年の 秋もいぬめり

答え[　]

【6】雲居にまがふ 沖つ白波

答え[　]

【7】われても末に 逢はむとぞ思ふ

答え[　]

【8】幾夜寝覚めぬ 須磨の関守

答え[　]

【9】もれ出づる月の 影のさやけさ

答え[　]

【10】乱れて今朝は ものをこそ思へ

答え[　]

百人一首 せんむすびワークシート（9）

上のくと下のくを線でむすびましょう

【A】難波江の 芦のかりねの ひとよゆゑ

【B】嘆けとて 月やはものを 思はする

【C】見せばやな 雄島のあまの 袖だにも

【D】夜もすがら もの思ふころは
明けやらで

【E】村雨の 露もまだひぬ まきの葉に

【F】ほととぎす 鳴きつる方を
ながむれば

【G】思ひわび さても命は あるものを

【H】世の中よ 道こそなけれ 思ひ入る

【I】玉の緒よ 絶えなば絶えね ながらへば

【J】ながらへば またこのごろや
しのばれむ

【1】ただ有明の 月ぞ残れる

答え[　]

【2】憂きにたへぬは 涙なりけり

答え[　]

【3】山の奥にも 鹿ぞ鳴くなる

答え[　]

【4】憂しと見し世ぞ 今は恋しき

答え[　]

【5】閨のひまさへ つれなかりけり

答え[　]

【6】かこち顔なる わが涙かな

答え[　]

【7】霧立ちのぼる 秋の夕暮れ

答え[　]

【8】みをつくしてや 恋ひわたるべき

答え[　]

【9】忍ぶることの 弱りもぞする

答え[　]

【10】濡れにぞ濡れし 色は変わらず

答え[　]

百人一首 せんむすびワークシート（10）

上のくと下のくを線でむすびましょう

【A】風そよぐ ならの小川の 夕暮れは

【B】きりぎりす 鳴くや霜夜の
さむしろに

【C】世の中は 常にもがもな 渚こぐ

【D】み吉野の 山の秋風 さ夜ふけて

【E】来ぬ人を まつほの浦の 夕なぎに

【F】百敷や 古き軒端の しのぶにも

【G】おほけなく うき世の民に
おほふかな

【H】わが袖は 潮干に見えぬ 沖の石の

【I】花さそふ 嵐の庭の 雪ならで

【J】人もをし 人も恨めし あぢきなく

【1】衣かたしき ひとりかも寝む

答え[　]

【2】人こそ知らね 乾く間もなし

答え[　]

【3】あまの小舟の 綱手かなしも

答え[　]

【4】ふるさと寒く 衣打つなり

答え[　]

【5】わがたつそまに 墨染の袖

答え[　]

【6】ふりゆくものは わが身なりけり

答え[　]

【7】焼くや藻塩の 身もこがれつつ

答え[　]

【8】みそぎぞ夏の しるしなりける

答え[　]

【9】世を思ふゆゑに もの思ふ身は

答え[　]

【10】なほあまりある 昔なりけり

答え[　]